

久邇 「蓄電室」は地下の、トイレと背中合わせの小部屋です。そこにあった蓄電池は、15×25×70cmくらいのガラスの、金魚鉢のように継ぎ目のない容器で、鉛の電極が入っていました。「蓄電室」にはそれが何十個と並んでおり、並列に接続されて、そこから南1号館全館に配線されていました。各室の配電盤まで来ており、必要とする学生はそこから自分の装置まで配線します。私も直流モーターを駆動するのに使いました。

東園 それとは別に、地下室には高電圧の電源もありました。「蓄電室」のそばの左側の壁に柵で囲まれた配電盤があって、入学して早々に先輩に連れて行ってもらい、電源を切る方法を伝授されました。ゴム板を敷く、ゴムの長靴をはき手袋をして、「電源を切る時は右手でパンと切れ!」と教えられました。高圧電流が流れており、一歩間違えたら感電して大事故につながりますからね。

南1号館の横に建っていた「工作工場」も是非伝えたい設備の一つです。旋盤、ボール盤、型削り盤、プレス、金鋸など工作機械がずらりと設置されていました。ここで実験装置の試作をしたり、器具の修理などを行いました。当時から「工作工場」には技術専門職の方が常駐していましたから、やすりがけ、旋盤技術、など実用的な技術を身に付けることができました。社会に出て、例えば設計図を描き、現場の作業員や職人さんによってもらう時や実験をする際に、実体験をもとに詳細な指示ができるので、大変役立ちました。会社の他大理学部出身者で、旋盤を扱える人は、まづいなかったと思います。

葛城 私も会社に入り「工作工場」で学んだことが大変役に立った一人です。

村松 残念ながら、化学科では「工作工場」での旋盤の実習などは、最近なくなりました。需要も減りましたし、危ないということが原因でしょうか。最近は大學生になるまで、マッチを擦ったことがなく、やけどもしたことがない学生もあり、実験環境も変化せざるを得なくなりました。しかし、ガラス細工は続いています。

井原 我々の頃は、化学科でも物理学科同様に基礎的な工作技術などをきっちり教わっているわけですから、応用力が身に付き、実験に使用する機器の本質的な部分を理解ができる。これは大きな力になります。

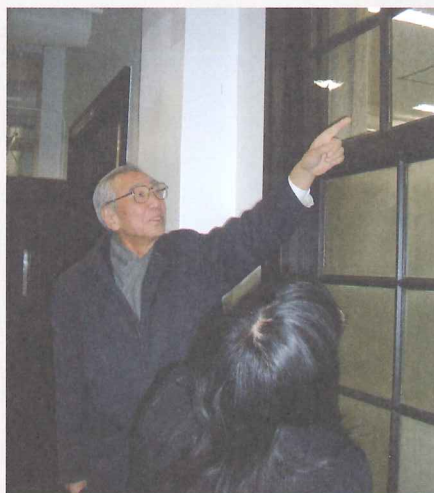
久邇 同感です。設計図面を書いて「工作工場」で自分の実験器具は自分で作っていましたからね。私は卒業後電機会社の研究所に勤めましたが、会社の工学部出身者よりも図面が読めました。図面を見て機械装置の構造を説明しても、なかなか通じない。机上で学ぶだけだと、具体的なことをイメージできないのかもしれない。

東園 そうだと思います。基本的なことを知っているから困らない。興味を持ち試行錯誤して自分でできたことは自信につながる、そういうことを理学部では実感できました。学習院大学はプリミティブなことをきちんと教えてくださった学校でしたね。

### 後輩に伝えたいこと

一同 南1号館は、私たちの理学部時代の思い出がすべて詰まった建物です。とにかく大切に使用していただきたいですね。学問の普遍性、基礎を学ぶことの重要性はもちろん、先輩後輩とのつながりや学生時代の楽しさは、かけがえのない素晴らしい財産です。学習院で学ぶこと、そして伝統ある校舎で学ぶ幸せを実感していただければ嬉しいです。

座談会編集 学芸員 富田ゆり・丸山美季



葛城 「廊下のこのガラスは、中に気泡の筋がありますが、ラバー式円筒法で作られた外国産のものでしょうか。大正3年から昭和8年の間生産されたこのガラスは、現在日本にはほとんど残っていない大変貴重なものです。」

井原 智 昭和42年 学習院大学理学部化学科卒業  
昭和49年 同大学院自然科学研究科博士課程満期退学(理学修士) 元杏林大学医学部講師 校友会常務理事、理学部同窓会常任幹事などを歴任し、卒業後も積極的に学習院と接してきた。学習院功労賞受賞



葛城 茂敏 学校法人学習院理事・一般社団法人学習院校友会副会長  
昭和34年 学習院大学理学部化学科卒業 旭硝子(株)入社、建築用板硝子、ガラス繊維、眼鏡レンズ事業を経て、平成8年ベトナムで合弁事業を立上げ、洋蘭の輸入販売を開始、現在に至る



久邇 朝宏 学校法人学習院理事・一般社団法人学習院校友会副会長・理学部同窓会会長  
昭和42年 学習院大学理学部物理学科卒業  
昭和44年 同大学院自然科学研究科理学修士 昭和49年より日立製作所生産技術研究所勤務、外観検査装置の研究・開発に従事、平成23年退職



後藤 哲二 昭和42年 学習院大学理学部物理学科卒業  
昭和44年 同大学院修士課程修了  
昭和50年 クラウスタール工科大学(Tech. Univ. Clausthal) Dr.Nat.(理学博士号)取得、平成14年、東邦大学理学部物理学科講師を経て平成22年、東邦大学名誉教授



東園 基政 学校法人学習院常務理事  
昭和36年 学習院大学理学部物理学科卒業 いすゞ自動車(株)入社、専務取締役、(株)いすゞセラミックス研究所代表取締役社長を経て、いすゞ自動車(株)理事。平成17年より学習院理事、平成19年より現職



村松 康行 学習院大学理学部化学科教授  
昭和47年 学習院大学理学部化学科卒業 ドイツ・ゲッティンゲン大学数理学部博士課程修了 放射線医学総合研究所、国際原子力機関(IAEA)などを経て平成16年より現職



### ミュージアム・レター第24号

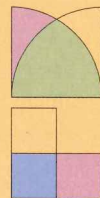
2014年2月28日発行

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

電話 03(3986)0221

内線 6569

FAX 03(5992)9219



Gakushuin University Museum of History  
学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>